

シンポジウム

L'animal et l'homme dans les philosophies au siècle des Lumières

日時: 2025年2月8日(土) 10:00-17:00
場所: 筑波大学東京キャンパス、434ゼミ室(対面開催)
(〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1)
申込: 不要
参加費: 無料
使用言語: フランス語

趣旨説明

18世紀の啓蒙時代における人間(l'homme)と動物(l'animal/la bête)の関係を共通のテーマとして扱う本シンポジウムでは、デカルト主義が提唱した動物機械論への批判を通じて、人間と動物を区別する境界の再考を試みます。これにより、単なる機械的存在以上として動物を捉えた当時の哲学者たちの議論を具体的に明らかにすることを目指します。また、啓蒙時代の哲学において取り上げられた sociabilité、liberté、intérêt といった概念を再評価し、これらが人間と動物の関係にどのように影響したかを検討します。この度は、ソフィー・オディディエール氏(ブルゴーニュ大学)をお招きし、加えて日本の若手研究者がそれぞれの専門的視点から共通テーマについて論じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

午前セッション

10:30 ~ 10:50 受付

10:50 ~ 11:00 趣旨説明(飯田賢穂・筑波大学)

11:00 ~ 11:40 高橋駿仁(上智大学)

「La liberté de la créature chez Fontenelle : penser à l'homme et l'animal à travers la critique du cartésianisme」

11:40 ~ 12:20 Sophie Audidière (Université de Bourgogne)

「Troubler la pensée par la question animale」

12:20 ~ 13:00 貝原伴寛(日本学術振興会特別研究員 PD)

「Domesticité et sociabilité : une perspective féline sur les frontières de l'humain」

昼休憩

13:00 ~ 14:30 昼食

午後セッション

14:30 ~ 15:10 飯田賢穂(筑波大学)

「Comment expliquer les « actions humaines » : aporie dans le second livre de l'Émile」

15:10 ~ 16:10 Sophie Audidière (Université de Bourgogne) 特別講演

「Histoire du 18e siècle, histoire de la philosophie française, histoire des idéologies : que faire du concept d'intérêt ?」

16:10 ~ 16:30 質疑応答

16:30 ~ 16:45 クロージング(飯田賢穂・筑波大学)

問い合わせ先: iida.yoshiho.gm [AT] u.tsukuba.ac.jp ([AT] を@に置き換えてください)

主催: 筑波大学令和5年度研究基盤支援プログラムSタイプ(1111230000)